

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ワキューセイメイ(仮称)泉南工場新築	階数	地上4F
建設地	泉南市男里7丁目他、阪南市尾崎町	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火指定なし	平均居住人員	160人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2020年10月21日
敷地面積	20,629 m <sup>2</sup>	作成者	古久根建設株式会社
建築面積	4,688 m <sup>2</sup>	確認日	2020年10月21日
延床面積	12,046 m <sup>2</sup>	確認者	古久根建設株式会社

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 0.7</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み 82%</p> <p>③上記+②以外の 82%</p> <p>④上記+ 82%</p> <p>46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>92</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 2.3</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 2.9</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 2.6</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 1.7</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 3.2</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 3.7</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 2.7</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>熱源となる機械等からの熱気が溜まらないように、換気および風通しに配慮し、良好な作業環境づくりに配慮する。窓をできるだけ多く設け、明るい作業スペースを確保する。また西日に配慮し、西面には庇を設け、熱線吸収ガラスを選定。道路境界・隣地境界から計画建物までの距離を十分に確保し、周辺に圧迫感を与えないように配慮する。住宅地がある南面・東面には高木の緑地を大きく確保し、景観に配慮する。</p>		<p><b>その他</b></p> <p>0</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>事務所部分について、F☆☆☆☆の建材を採用し、建物内を禁煙とするなど、室内環境の向上に努めている。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>事務所部分について、十分なリフレッシュスペースを確保している。また、建物全体について、壁長さ比率を低く抑え、建物のサービス性能の向上に努めている。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>標準的な配慮を行っている。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>事務所部分のBPI<sub>m</sub>=0.87とし、建物全体のBEI<sub>m</sub>=0.71としている。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>標準的な配慮を行っている。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率82%とし、光害対策に配慮した設計とするなど、敷地外環境の向上に努めている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0099

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	ワタキューセイモア株式会社(仮称)泉南工場新築工事					
		建設地	大阪府泉南市男里7丁目他、阪南市尾崎町他					
		用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】		CASBEE 総合評価	★★★★★			B-		
①	CO2削減		★★★★★			4		
②	みどり・ヒート アイランド対策		★★★★★			2		
③	建物の断熱性		★★★★★			4		
④	エネルギー削減		★★★★★			4		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.7	4	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				2.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.3	4	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.9	4	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								